

# 津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第3回南小学校区懇談会 開催報告

新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を確認し 今後の活動を展望

■テーマ：「南小学校区における地区懇談会の成果と計画（案）を確認し  
今後の地域福祉活動について話し合おう」

■日時：平成28年2月17日（水）13：30～15：00

■場所：南コミュニティセンター

■参加者：計12名（参加者6名、事務局6名）

## 【開会、趣旨説明】

事務局の福祉課より、本日の会議の趣旨や検討テーマ、スケジュールについて確認しました。

今回は、新たに策定した「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の概要を報告するとともに、南小学校区の「地区懇談会」の開催結果について説明しました。

続いて、平成28年度からの地域福祉活動の進め方と、そのために地区懇談会を継続することやコミュニティにおける体制づくりについて意見交換することを説明しました。



## 【「津島市地域福祉計画・津島市地域福祉活動計画」の概要説明】

「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の、基本理念、基本目標と基本施策、重点的な取り組み、計画の推進方法について、概要を説明しました。

また、計画書の参考資料として添付する「地区懇談会結果概要」を説明しました。

これに基づき、南小学校区における地域福祉課題を解決するための取り組みアイデアを振り返って、今後の活動や体制づくりなどについて意見交換を行いました。

## 【今後の福祉活動のあり方や、体制づくり、地区懇談会の継続について】

今後の福祉活動については、この小学校区で特に重点的に進めるべきことについて意見を交換しました。体制づくりについては、地区社会福祉協議会の設立を目指すことについて、また、そのための土壌づくりとしてコミュニティ推進協議会において福祉部会を設置すること、あるいは平成27年度に3回開催した地区懇談会を今後も続けることについて話し合いました。あわせて、平成28年度に開催を目指す第1回の地区懇談会の時期についても検討しました。

意見交換の結果は、裏面のとおりです。

## 今後の福祉活動のあり方や、それを進めるための体制づくり、地区懇談会の継続

### 今後、取り組むべき福祉活動について

- ・コミュニティでは、子ども会が消滅の方向（年2回ぐらいの活動）であり、南校区の西半分は高齢化が著しい。
- ・老人クラブはサロンの開設や、ひとり暮らし高齢者の見守りをやっている。
- ・多様な生活者に対する取り組みを行う。「福祉」、「弱者に対して」となるとコミュニティの活動として重い。
- ・お金がない活動の担い手が、ボランティアではないか。
- ・南コミュニティ推進協議会では『子どもを地区で育てる』ことに重点を置いており、学校とコミュニティとの連携を図る。また、コミュニティで文化、伝統、地域の事を教える。寺子屋のように勉強の仕方を教えたらどうかとも思う。

### 地域福祉活動を進めるための体制づくりについて

- ・地域、行政、民生委員、社会福祉協議会などの関係が分からない。
- ・民生委員を核としてはどうか。民生委員拡大部会のような形として活動をするかを検討する。
- ・民生委員地域福祉部会では見守りを計画しているが、民生委員のみでは活動できないため、具体的に活動を進めることができる体制が必要である。
- ・民生委員は組織として活動をしてほしい。場の提供、情報発信はコミュニティで行う。
- ・若い人が問題点を言える場づくりが必要である。PTA、町内会の懇談は行われているが、報告と交通安全に関する内容のみである。
- ・お母さんたちは働いている人が多いので、会がいろいろあると困る。

### 地区懇談会の開催について

- ・地区懇談会は継続していく。

### その他

- ・計画において市民、団体、行政の役割分担は示されるのか。南小学校区でやることも示されるべきでは。また、コミュニティの役割は何か。
- ・計画は、活動を行いやすい指針となるべきである。どこまでを地域に求めるのか。
- ・若い人が津島に住みたくなるように、他の町へ出ていかないようにする努力が必要である。お年寄りを優遇しすぎてはいないか。子どもの医療費の充実などが必要。子どもを市としてどう育てるか、子どもを育てたい町にする必要がある。

#### 【第3回地区懇談会でのご意見・ご感想(アンケート結果より)】

- ・気楽な雰囲気で見守り交換できる場として良かったと思うが、扱うべき内容の幅が広すぎてなかなか難しい面もあった気がする。
- ・世代を超えた交流の場づくりは個人が協力できる範囲でできそうなので、そのような場づくりに取り組みたいと思う。
- ・サロンをテスト的に開催して、ボランティアを募集して一歩前進できないか。テスト開催は、小さくてもヘタでも開始する。